

議会だより

さつま

令和3年11月4日発行

No. 67



もっと早く！

町陸上記録会（宮之城運動公園）
400メートルリレー（10月7日撮影）

9月定例会、8月・10月臨時会の概要	2P～3P
常任委員会審査の概要	4P～5P
一般質問（12人）	6P～17P
議員活動、編集後記	18P



さつま町ホームページ（議会）

災害復旧費に 22億9,075万円

7月豪雨災害 1日も早い復旧をめざして

9月定例会

災害復旧事業内容

- ・農地 415 件
- ・施設 249 件
- ・河川 61 件
- ・道路 19 件
- ・林道など

第3回(9月)定例会は、9月3日から9月24日までの22日間の会期で行われ、条例の一部改正や各会計の補正予算などを審議し、提案されたすべての議案を可決しました。

主な補正予算

企業振興費

2,146万円

立地協定を行った、アロン電機株式会社の設備投資などに係る補助金です。

畜産業事務費

650万円

薩摩家畜検査場の補修等工事費です。

令和3年度各会計補正予算額

8月補正
9月補正
10月補正

新型コロナウィルス感染症関連

国の緊急経済対策等

297万円

ワクチン接種事業

医療機関等における時間外又は、休日接種加算に要する経費です。

町の緊急対策等

192万円

教育委員会事務局費

通学バス内での感染リスク軽減を図るため、臨時便運行に係る下半期分の経費です。

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計 (4号・5号・6号・7号)	30億3,136万円	167億9,715万円
特別会計 国民健康保険事業	歳出項目組替えのため増減なし	30億9,205万円
特別会計 介護保険事業	1億9,422万円	38億4,753万円
上水道事業会計 (支出総額)	4,188万円	4億2,412万円

※金額は千円単位を四捨五入



通行不能となった町道大俣線

10月臨時会

10月15日開会

8月と10月に臨時会を開催し、提案された一般会計補正予算を原案のとおり可決しました。

補正予算の主な内容は、令和3年7月豪雨災害に伴う復旧事業費などです。

8月臨時会

8月11日開会

8月補正額（一般会計） 2億4,556万円

10月補正額（一般会計） 1億4,796万円

～どう変わった 我が町の条例～

工業開発等促進条例 の一部改正

行政手続における押印見直し等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

固定資産評価審査委員会条例、集会所条例、火入れに関する条例、普通河川等管理条例の4条例の一部を改正するもので、町民の利便性の向上及び行政事務の効率化を図るための見直しです。

個人情報保護条例及び個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正



倉内工業団地（上空から）

「過疎地域持続的発展計画」を策定

改正の内容は、固定資産税免除の対象となる業種に情報サービス業等が追加されたことや期間を令和6年3月31日まで延長するもの

により、地域活性化等の取組をさらに積極的に推進するため、令和3年度から7年度まで新たに計画を策定するものです。

その他の議決事項

川口平川線3-4工区工事請負契約の締結

町道川口平川線の道路新設にかかる橋りょうの橋脚1基を整備するものです。

■契約金額

6399万8千円

■契約の相手方
株式会社二渡建設



橋りょうの工事が始まる（3-1、3-2工区）

【報告】 令和2年度健全化判断比率の報告

法令の定める早期健全化基準を下回つており、良好な状態にあります。

令和2年度資金不足比率の報告

上水道事業会計、農業集落排水事業特別会計において資金不足は生じておらず、良好な状態にあるといえます。

【発委】※ 地方財源充実を求める意見書を国へ提出

決算特別委員会を設置

決算特別委員会を設置

令和2年度決算について、町歳入歳出決算、上水道事業会計決算、利益剰余金の処分について、決算特別委員会を設置し、審査を付託しました。審査の内容は、令和4年2月発行予定の議会だよりに掲載します。

※発委とは
議会の委員会が条例案や意見書案などの「議案」を議長に提出することです。提出には、会議規則で定められた数の賛成者が必要です。



委員会に付託された議案全て原案可決

総務厚生

常任委員会審査

委員会審査の中で出された質疑、意見などを掲載しています。



条例改正(1件)
一般会計補正予算(関係分)
特別会計補正予算(2件)

一般会計補正予算
(第6号) 関係分

公民会集会施設のバ
リアフリー化改修で
対象となるものは
【岸良】



不妊治療の効果は
答 [森山]

トイレの洋式化や
スロープ、手すりの設
置が対象となる。また、
令和4年度までは補助
率を高く設定し、バリ
アフリー化の推進に努
めている。



改修工事予定である南川公民館（永野地区）

公共施設等総合管理
計画の内容は
【岸良】

答 公共施設等の改修
や廃止などの実績を整
理するなどして、全体
的な分析を行う計画で
ある。

8億円を超える地方
債の増額は財政運営
に影響しないか
【中村】

答 災害復旧事業が主
な増額の要因であり、
交付税措置が高い起債
であることから、町財
政への影響は少ない。



旅券の申請手続きを対応する職員

旅券の申請交付は住
民票のある市町村の
みか
【中村】

答 原則住民票のある
市町村での申請交付と
なるが、勤務地や学生
は居所でも可能であり、
急を要する場合等は、
県民交流センターでも
可能である。

新型コロナウイルス
感染者の入院調整や
町内医療機関の対応
は十分か
【中村】

答 入院調整は川薩保
健所が管内の医療機関
で対応し、町内でも対
応可能な医療機関はあ
るが、全て川薩保健所
で対応している。

委員会に付託された議案全て原案可決

条例改正(1件)

一般会計補正予算(関係分)
上水道事業会計補正予算

薩摩家畜検査場の利用状況は

【上別府】

一般会計補正予算
(第6号)(関係分)

落語四人会のチケット販売が目標額に達しない場合の対応は

【古田】

答　コロナ禍での販売になるが、販売目標は100枚で、目標に達しなくても開催への影響はない。



改修工事計画の薩摩家畜検査場

答　高齢や病気などの理由で昨年は14経営体が再認定を辞退されたが、兼業農家等で新たに3人認定された。

町内認定農業者の加入と脱退の状況は
【平八重】



シカ被害対策の電気柵

有害鳥獣対策の電気柵等補助金交付申請をしても決定を待つことがあるか

【新改】

答　補助の要望が多く、予算不足となり、交付決定を待つ。ただく状況がある。

◆要請◆

公平で迅速な補助金の交付ができるよう、対策を検討する要請する

答　タヌキとアナグマ各1匹に3,500円、カラス1羽に600円の捕獲報償金制度がある。近年は特にアナグマの被害が増えている。

小動物による農作物被害対策は

【上久保】

令和3年第4回(12月)定例会は11月30日開会予定です

12月定例会予定 議運…議会運営委員会、全協…全員協議会

日	月	火	水	木	金	土
				11/25 議運	11/26 全協	11/27
11/28	11/29	11/30 本会議 (開会日)	1	2 本会議 (一般質問)	3 本会議 (一般質問)	4
5	6 本会議 常任委員会	7 常任委員会	8 常任委員会	9	10	11
12	13	14	15	16 常任委員会 議運 全協	17	18
19	20 本会議 (閉会日)	21	22	23	24	25

日程は変更になりますことがあります。

詳しくは議会事務局(53-1111)にお問い合わせください。

○日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。

○鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット(Youtube)で、本会議の中継を視聴することができます。

議会情報を満載

《さつま町ホームページ》
<http://www.satsuma-net.jp>

トップページの下の画面から
議会情報をご覧になれます。



QRコードを読み取ると
ライブ中継画面のページが表示されます。

さつま町議会



ここをクリック

感染症対応の基本姿勢・指針を

町長／ガイドライン策定により周知



上久保 澄雄 議員

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。

般質問

答 高齢者の2回目接種率は8月末で約93%であり、町全体では約63%と、いずれも国・県の平均を上回っています。これはワクチンの十分な確保が可能なため、速やかな接種に努める。保健所や医療機関が連携し、当初における感染状況等の報告はなされていなかった。住民生活や自治活動については、今後ガイドラインによる周知を図りたい。

ワクチンの接種状況と接種率及び今後の接種計画は、また、感染者自宅待機者・療養者へはどう対応されているのか。病床の確保など関係機関等との連携はどのようになされているものか。町民生活・自治活動に対する指針等も示すべきでは。

問 本年7月の豪雨により下湯田第一樋門に通じる畜舎等に浸水被害が発生し、過去にも同様の被害を受けている。今後、ワクチンの十分な確保が可能となるため、速やかな接種に努める。保健所や医療機関が連携し、当初における感染状況等の報告はなされていなかった。住民生活や自治活動については、今後ガイドラインによる周知を行いたい。

答 下湯田川の流水と周辺からの排水により度々浸水が発生していたことから、令和2年度に国土交通省和2年度に国土交通省により樋門管理道路の整備がなされ、町で毎分8トンの排水用ポンプ一台を設置した。今後も被害軽減に努めていくと共に期成会等を通じ国等への要望を行っていく。



安全に登下校できるように道路改良が進む
(町道湯田原線)

内排水対策の強化を

町長／被害軽減と国へ要望



7月豪雨で浸水した畜舎（下湯田地区）

問 令和4年4月から的新鶴田小学校の開校に伴う通学路となる町道は、一部改良整備中であるが全線の整備は数年必要とのことである。整備促進と整備期間中の登下校時における子供達に対する安全をどのように確保されるのか。

答 町道湯田原線は、一定の歩道区間の確保や縁石・カラーブラックによる歩行者空間の確保に向け工事中である。危険箇所を優先して、令和5年度には完成させたい。整備期間中は、注意喚起の看板設置や学校・PTA・関係機関等と連携し安全確保に努めたい。

通学路整備

教育長／通学の安全確保に努める

登下校時の安全対策を

問

7月9日夜から
10日朝方にかけて、
紫尾山系に記録的な大
雨が降り、町内に甚大
な被害が発生した。今
回の災害は平成18年豪
雨災害が教訓となつた。

のか。また、災害本部
としての反省点はなか
つたか。

答

深夜未明に天候
が急激に悪化し、
町民の方々が避難の準
備から安全を確保する
まで短時間であったの
で、検証や改善の必要
を感じている。今後も
的確な情報をいち早く
収集し、地域住民へ情
報提供ができるよう関
係機関との連携強化に
努める。

災害対策本部の反省点は

町長／検証や改善が必要

柏木 幸平 議員

災害対策

排水機場の早期建設を 町長／国交省に強く要望する

問 川内川に流れ込む虎居の都市下水路の流末は樋門になっている。樋門には、排水ポンプ車が配置されると、今回、事業所や住民は、排水機場の早期建設を望むが、今後

の対応は。

問



虎居樋門

答

虎居樋門に配備されている国土交通省のポンプ車は、毎分60トンの排水処理能力があるが限界もある。今回の災害を教訓にして、今後も継続して排水機場の設置と排水ポンプ車の追加配備など、

問 町内各地区に避難所が開設されたが、新型コロナウイルス感染症対策は万全であったか。また、避難所での不満等も聞いているが、避難所の見直しなど改善していく考

災害避難所の見直しは 町長／担当課に検討を指示

答

避難所における感染症対策は、国や県が示すマニュアルを参考にして、過密状態にならないようしている。なお、避難所の見直しは、全体的な見直しは、全体的な避難のあり方等や公民館を使った自主避難等、担当課に検討を指示している。

インフラ整備の必要は 町長／国・県に改善要請する

問

今回の災害により、道路の決壊や浸水による通行止めが発生し、一時、消防団活動や緊急避難時等に支障が出た。道路や下水路の改修について今後の対応と、災害箇所の「改良復旧」の考えは。

答

崩土等により通行不能が、108カ所、冠水箇所が13箇所あつた。数ヶ月は通行に支障があると思うが、早期の災害復旧に努める。下水路は、今後も維持管理に努める。また、災害箇所の「改良復旧」については、国・県に要望をしていく。

対策と追加支援の考えは



新改 秀作 議員

町長／今後も検討していく

経済状況は、全てにおいて打撃を受けており、今後と認識しております。今後の支援については、町内事業者の状況を把握し、国や県の動向を注視しながら追加の支援も含め対策を検討していく。

問

本県に「まん延防止等重点措置」

が適応されたが、本町の対策はどうか。また、製造業・観光業・商業・農業における経済状況をどのように捉えているか。さらに、今後、追加支援の考えはないか。

答

飲食店への時短要請や施設の利用制限を行い、12歳以上18歳以下の子どもたちは夏休みを利用し、ワクチン接種を実施した。

児童・生徒への対策は 教育長／マニュアルにより進める

教育行政

教職員の負担軽減は

教育長／さらに進める

問

令和4年度より

小学校5・6年生

に教科担任制が導入されると音楽、英語において専科教員による指導が行われている。今後は、授業支援による教科担任制なども導入できるよう指導したい。

以前の一般質問で教員の労働時間及び働き方改革について質問を行ったが、その後の状況はどうか。

答

基本的に文部科学省の衛生管理マ

本町では、理科と音楽、英語において専科教員による指導が行われている。今後は、授業支援による教科担任制なども導入できるよう指導したい。

教員の関係については、業務の簡素化・効率化を積極的に進めており、さらに質の維持・向上に努めています。

特別支援学級の対策は 教育長／連携を図り資質向上に努める



英語の授業の様子（流水小学校）

問

対象児童は増加傾向にあり、子どもの可能性を伸ばすた

め、よりきめ細かな支援が必要である。各学校では、特別支援教育に関する校内研修の実施や各研修会へ積極的に参加するようにしてい

る。また、通級指導教室を盈進小学校に開設し個別の指導を実施しており、今後も関係機関と連携を図り、教職員の資質向上に努めたい。廃校利用は、県への要望を行っていく。

め、よりきめ細かな支援が必要である。各学校では、特別支援教育に関する校内研修の実施や各研修会へ積極的に参加するようにして、何が考えられるか。またその対策をどのように講じていくか。また、日常の検温や健康観察を徹底するとともに、児童生徒の心のケアも図っていく。

問

今後は子どもから子どもへの感染が懸念されるが対応策は。またクラブ活動への支障はないか。学校における環境衛生の指導はどのように行っているか。

ニユアル「学校の新しい生活様式」に従つて進めていく。マスク着用・手洗い、三密の回避等を厳守し、感染防止対策を図っていく。

また、日常の検温や健康観察を徹底するとともに、児童生徒の心のケアも図っていく。

問

特別支援学級の生徒が増えている傾向があると言われているが、今後の問題点として、何が考えられるか。またその対策をどのように講じていくか。廃校跡地を使用の教室として使用することは可能か。

め、よりきめ細かな支援が必要である。各学校では、特別支援教育に関する校内研修の実施や各研修会へ積極的に参加するようにして、何が考えられるか。またその対策をどのように講じていくか。また、日常の検温や健康観察を徹底するとともに、児童生徒の心のケアも図っていく。



平山 俊郎 議員

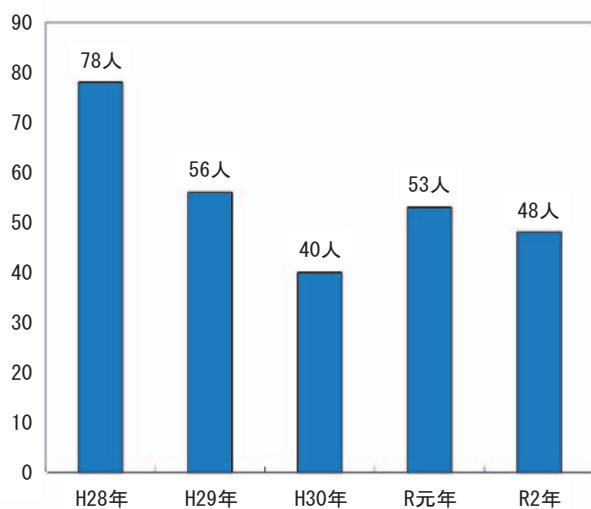
交通安全

手上げ横断の実践推進を

町長／推進し事故防止に努める

答 運転者に自己の存在をアピールする「手上げ横断」は、周囲の安全確認と事故防止につながる大切なことだと感じる。「手上げ横断」の実践については、交通安全協会を始めとする関係機関・団体とも連携して推進し、歩行中の交通事故防止に努める。

問 本年6月に警察庁は「交通の方法に関する教則」に「手上げ横断」を43年ぶりに復活させた。そこで、他の市町村に先立ち、「手上げ横断」の実践を推進し、歩行中の事故防止に努める考えはないか。



町内の交通事故状況（人身事故：県警察交通統計）

横断歩道では手をあげて渡りましょう
(交通安全教室：盈進小学校)

危険箇所点検（佐志地区）

答 千葉県で、下校途中の小学生の列は67力所あり、そのうち改善されたものは21力所、現在改善中のものが16力所ある。経過観察中のものが30力所あるが、ガードレールや横断歩道の設置、交通規制など関係機関と調整中であり、今後、関係機関と連携を図りながら改善を推進していく。

安全対策

教育長／
関係機関と連携し改善する

通学路の安全対策は

地域活力

人口減少対策は

町長／新たな取組を指示



森山 大 議員

問

人口減少の加速
は顕著だが、地域
の活力をどう引き出せ
ばいいのか正念場であ
る。実効性のある対策
に官民一体で取り組み、
各地域の魅力をどう高
め、発信していく知恵
を絞る必要があるが、
どのような視点に立つ
て推進するか。

発想と施策は

町長／プロジェクトチームの設置へ

自分たちで「できるこ
と」を創造し、その実
現へ向け皆で取り組ん
でいく。行政側からお
願いしている役割や取
り組みについても、議
論し改めるべきところ
は改めていく。

一極集中のは正と地方
の活性化に向けられ、
目標達成も24年度に先
送りされた。コロナ禍
で出生数の落ち込みも
予想され、先行きが厳
しいと、町長はどの様
な発想で施策を講じる
か。

政府の第1期総
合戦略では、東京
促進、住宅取得による
定住支援、空き家バン
ク制度等を実施してい
る。また保育料の軽減、
子ども医療費の助成対
象年齢の拡大等を行っ
ているが人口減少の抑
制に至っていない。現
在複数の課でプロジェ
クトチームの設置を指
示している。

介護保険

給付と負担のバランスは

町長／体制づくりに
努めたい

問

来年から団塊の
世代が75才以上の
後期高齢者医療保険に
加わり、介護保険サ
ービスの重要性はさらに
高まる。介護保険制度
の存続には改革が必要
で、保険料の上昇は避け
られない。給付と負
担のバランスをどう取
るべきか。

答

保険給付に見合
う負担を増やすか、
保険給付を減らすかの
収支バランスをとる必
要がある。今後高齢化
に対応できるよう、地
域づくりとして、高齢
者の見守りや安否確認、
支え合いなどを目的と
した介護予防、生活支
援の体制づくりに努め
たい。

買い物支援

買い物弱者対策は

町長／調査研究し検討したい

問

高齢者の食料品
確保や生活の質の
維持は、新型コロナウ
イルス感染防止と並び
重要な。買い物に支障
のある方へ行政と民間
が連携して支援すべき
と考える。さらに民間
を含めた移動販売車を
増やしていく考えはな
いか。

答

ヘルパーによる
買い物や訪問型の
移動サービスの支援、
シルバー人材等による
家事援助支援、社会福
祉協議会による支え合
いネットワーク事業に
による支援等などが利用
されている。また民間
を含めた移動販売は、
調査・研究を行った上
で検討したい。



今日は何を買おうかな（移動販売で買い物中）



上別府 ユキ 議員

雇用改善

学校司書雇用の改善は

教育長／会計年度任用職員として

問

各学校司書は、PTA雇用のまま3路線の進捗状況を注視している。路面の損傷や支障木の伐採などの維持管理に努めても

答

数年前から近隣市町の雇用状況や学校長の意見を聴取し、検討してきた。令和4年度を目途に会計年度任用職員として改め、学校司書雇用の改善につながるよう努めてまいりたい。

答

本町としては、優先度の高い他の3路線の進捗状況を注視している。路面の損傷や支障木の伐採などの維持管理に努めても



本の貸し出しをする司書（永野小学校図書室）

問

PTA会計支出として退職金の積立てなどを行っている学校もある。今後の対応は。

答

これまで、一部の学校で、PTA予算から学校司書の退職金積立てが行われていた。会計年度任用職員に移行された場合、これまで積立ててこられた退職金については各PTAで精算してほ

退職金積立ては

教育長／各PTAで精算を

問

県道針持→永野線の改修について地元永野区では、伊佐市議会議員や針持地区の方々と意見交換を重ね、共に足並をそろえて要望していくことを決定したが、町としてはどう考えるか。

道路改修

町長／連名で要望書を

きょうあい
狭隘とは
幅や面積がせまいこと

問

小規模校と大規模校では勤務にバラツキがある。小規模校では、週3日勤務の学校があり、勤務のない日は図書室はカギがかかっている。子どもたちの学習のため、平等な利用の在り方は考えられないか。

答

現在、学校司書の勤務条件は学校により異なっている。今後、勤務条件等の整備を図り、学校とも十分協議しながら、子どもたちの読書活動の充実に努めていき、新たに学校間における相互協力体制を整備し、勤務者の働き易い環境づくりに努める。

県道改修要望は

教育長／勤務条件の整備を図る

コロナ対策

飲食業以外の支援は



古田 昌也 議員

町長／エール便など検討中

らどのような支援が出来るかを検討する。また、さつま町エール便なども再度検討を指示している。

問

新型コロナ感染症がまん延し、飲食業すべてに対しても短営業の要請がでた。その為、飲食業に関わる事業者にも影響が出ている。その事業者に対して、支援を行う考えはないか。また、昨年年の事業で行った工一便を再度行う事は来ないのか。

答

飲食業の休業に伴い、関連の事業者にも大きな影響が出てくると考えている。感染症の状況を見なが

感染症情報の周知は

町長／隨時お知らせ版等で周知

※エール便とはふるさと納税返礼品等のさつま町の逸品をお試しできるモニターを全国から募集。新型コロナ感染拡大で影響を受ける事業者の支援や町内経済の下支えとして実施する事業。



ワクチン接種会場（JA北さつま農協）

問

感染拡大が進む中、正しい情報の判断がわからなくなっている。そこで、地元医師や専門家などと意見交換等を行つてきている。その中で、どのように町民に伝えられるのか。その情報を、

答

医師や専門家との意見交換は、随時行っている。情報の伝え方としては、防災ジヤL.I.NE、お知らせ版等で随时周知をしている。

そのほかの質問
鶴田農産物処理加工施設の位置付けと運営について



問

対策がワクチン接種に限定されている印象であるが、ワクチン以外の対策は考えているのか。

点では、考えていないが、一人ひとりの徹底的な感染対策しかないと考えている。また、個々が基本的で確実な感染対策を実施するのが一番の対策になると考へている。

答

ワクチン以外の対策について現時

町長／徹底した感染対策を

ワクチン以外の対策を



川口 憲男 議員



水田に作付された里芋

農林業の生産基盤強化は

町長／関係団体との強化を図る

農業政策

答

水田の排水対策を実施、生産基盤の強化を図り高収益である野菜等の作付を推進したい。またJA等関係機関と連携して地域ブランド創出に向けた支援強化を図り、本町の優れた農産物を多くの方に知つてもらい、トップセールスを積極的に行う。

業の生産性向上、収益向上を図る考えだが具体的な対策は。また、全天候型ハウスの推進を図り、野菜の6次産業化につなげる考えは。



誘致企業である、さつま町バイオマス発電所竣工式（柏原地区）

生産性基盤の強化や地域特産品のブランド、強化策等農業の生産性向上、収益向上を図る考えだが具體的な対策は。また、全天候型ハウスの推進を図り、野菜の6次産業化につなげる考えは。

商工業の推進

町長／制度充実による経営支援を

問

地場産業の育成や新たな起業・創業支援等の施策に取り組むとされているが、

現在の商工業の実態を把握し、持続可能な経営への支援をどのように考えているのか。

答

地場産業の振興発展により、税収

GIGAスクール構想で小中学校全の児童・生徒にタブレット端末が提供されている。授業等での活用状況は。また、今後のICT教育への取り組みをいかに進めていく考え方。

問

教育行政

教育長／バランスをとりながら

GIGAスクールの取組は

答

今後は、教員のスキルアップが喫

ICT教育の充実は、府舎内の情報化も進展するのでは。

学校での機器の取扱いパソコン・スマートフォン等良い方向に活用する教育が大事と考えるが今後の課題は。

今後の課題は
教育長／教員のスキルアップ

答

ホワイトボード

GIGAスクール構想で小中学校全の児童・生徒にタブレット端末が提供され、学習内容の定着を図るために、ドリルアプリを授業のまとめで活用している。タブレット端末は学習のための道具であり、書く時間が省略できている。今までの学習方法とバランスを取りながら進めしていく。

情報提供のあり方は

避難情報

町長／

情報共有を図り早めに発令



橋之口 富雄 議員

報が不足している現状である。夜間の避難を避けるため、ゆとりある避難を想定しながら早めの避難指示等の発令に努める。地域住民への情報提供や共有を図りたい。また、防災意識の啓発に取り組む。



ほたる橋に設置された水位計（柏原地区）



的確で迅速な情報提供が求められます
(放送中のためマスクをはずしています)



7月豪雨災害（平川地区）

道路通行不能の情報は
町長／案内板を設置し周知

問

今回の大雨で道路決壊やがけ崩れ等による集落の孤立化など甚大な被害が出たが、住民に対する情報を的確に周知する情報提供の在り方についてどう考えているか。

答

道路の通行止などの災害箇所については、情報提供があった際にその都度職員が確認に出向き、状況を見極めながら片側通行や通行止などの案内板を設置することで周知をしている。

答
県管理の支流は
7カ所の水位計だ
けで確認しており、情

問
7月の大雪で甚
大な被害が出た。
豪雨時の川内川やその
支流である、夜星川、
泊野川、海老川等の状
況について、情報提供
を的確に住民に周知す
ることは避難等に大い
に参考になる。町民へ
の情報提供のあり方に
ついてどう考えるか。



有川 美子 議員

災害とコロナ

車中避難者への情報は

町長／防災無線やSNS等で提供

(危機管理監) 指定避難所内の車中泊は対応可能と考えている。指定外への避難者は、どこに避難するのか等の情報を、身内や関係者等へ連絡してもらえれば、後々の対応にも活用できると思う。

答（町長）
避難情報は、防災無線や町のホームページ携帯のLINE情報等あらゆる方法を利用し提供する。

規模災害が発生した場合、避難者が感染を恐れて車中避難を選択する可能性が高い。車中避難の場所は、どの程度確保できるのか。また車中避難者に対してもどのような方法で避難場所や避難情報の提供等を行う考えか。

問

コロナ感染拡大
中に大地震等の大

8 施設今後の避難所活用は

町長／廃止・譲渡後も継続利用

現在避難所として

問 現在避難所として活用中の8つの公共施設を、個別施設計画にて廃止又は譲渡対象としてリストにあげているが、災害発生時の避難所としての活用はどうするのか。また、譲渡後の施設維持に関する補助金等の考えはあるのか。

答
避難所としての施設そのものを廃止するということではない。廃止の泊野・終野地区体育館は、普通財産に移行し、引き続き町が維持管理する譲渡施設は、引き続き運営補助をすることから地元に施設の維持管理をしていただき、避難所としても活用させていただきたい。



町指定避難所となっている杉野地区体育館 (旧杉野小学校体育館)

答 国の事業で検査
費用の助成がある
希望される妊婦は、かか

妊娠が入院する際、病院によってはPCR検査が必要であることがあるが、検査費用を助成する考えはないか。

検査費用の助成の考え方
町長／国の事業で助成金あり

検査費用の助成の考え方

りつけ医と相談し、一人一回分の費用負担は生じていないが、初診料等が必要な場合もある。対象者は、おおむね分娩予定日2週間前とあるが、予定が早まつた場合も妊婦の希望があれば助成対象とな

答 川薩保健所に確
認したところ、産婦人科を併設していく

問 本町在住者で、新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れている医療機関において、受け入れ先はどうなっているのか。

答 川薩保健所に確認したところ、産婦人科を併設していて、川薩保健所に確
認したところ、産婦人科を併設していて、受け入れ先はどうなっているのか。
が一に備え、体制が整つた医療機関において安心して出産できるよう、体制強化について引き続き要望等を行つてまいりたい。

妊婦とコロナ 町長／体制論 妊婦の感染

妊婦の感染者医療体制は

災害対策

観測体制や警報体制は

町長／十分とは言えず



中村 慎一 議員

- (3) 安全な道路は防災訓練等で再確認を。
 (4) 避難所は地域の実情で異なる。

川内川洪水対策は

町長／町民と認識を共有

洪水対策

し、答

答 虎居・湯田の避難所を高台に変更し、流域住民の避難を

問

問 鶴田ダムの緊急放流予告に対しても、住民の避難行動は、また浸水被害の想定は、川内川激特ダム改修後でも再度被害が想定されるのか洪水対策の実態は。



氾濫した川内川（とどろ大橋：平成18年7月）



低地にある湯田地区避難所（湯田いきいき研修館）

行政改革

行革施設管理計画は

町長／文化施設は更に検討

性園各地夕れ廢止され

問 行革の個別施設
計画では集約から
廃止まで年度を明記さ
れているが、文化セン
ター、保健センター、
各地区交流館、児童遊
園地、武道館等の機能
性の問題・課題等検討
されているか。

合施設の検討、候補地
の中間報告を行つたが
更なる検討が必要。保
健センターは宮之城に
集約し鶴田は老人福祉
センターとして活用予
定。地区交流館等は地
域の活性化計画に基づ
き進める。児童遊園地



老人福祉センターとして活用予定である
鶴田保健センター（袖子地区）



平八重 光輝 議員



あいさつ運動の様子（中津川小学校）

やさしさ

日本一やさしい町に

町長／目くばり 気くばり 思いやりで

問

良き出会いの始まりはあいさつからと思うが、役場や学校の現状をどのように把握しているか。

答

（町長）

あいさつは人と人が最初に交わすもので、日常生活上欠かすことのできないものであり、マニフェストに「目くばり、気くばり、思いやり」でお客様の気持ちに向き合うよう職員に発信している。

（教育長）

学校評価アンケートでは学校でのあいさつは「よく出来ている」との評価になっている。

問

新型コロナワイルス感染症のまん延により、職場を失つたり、収入が少なくなったり、生理用品にも不自由している報道等を目にするが、現状をどのように理解され、対策をどう考えるか。

（町長）
20日時点）内閣府調査（7月）では鹿児島

（教育長）

各学校で生理用品が必要なときは、保健室に準備してある。

生理の貧困対策は

町長／個室トイレにも準備



町女性団体連絡協議会から宮之城中学校へ
生理用品が贈られる

問

人口減少や少子高齢化が顕著に進む中、限られた予算や人材を有効に活用し、

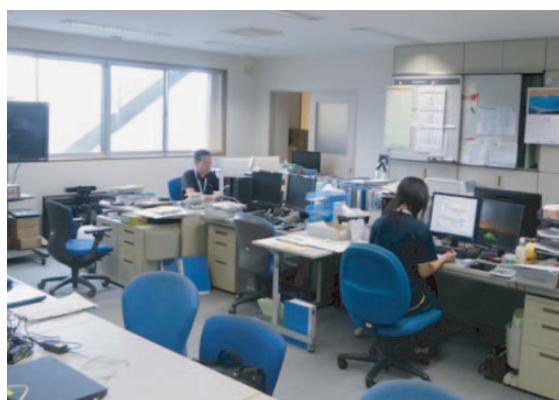
町民の満足できるサービスを維持、提供するには、ICT化が必須

化は、マニフェストの一つでもある。ICT化など新たなシステムを用いた業務の軽減化に取り組むことが、安定的な町民サービスの提供と更なる住民サービスの向上につながると認識しており、積極的に取り組んでいく。

答

ICT化

町長／積極的に取り組みたい
役場業務のICT化は



役場の電算業務を担う情報政策係

議会活動



7月の記録的豪雨による災害調査を実施しました。(8月6日)



町単独議員研修会として、7月の豪雨被害状況やダム放流について、川内川河川事務所と鶴田ダム管理所の説明を受け、意見交換を行いました。(10月15日)



宮城県町村議會議長会より、本年7月の豪雨災害義援金を鹿児島県町村議會議長会へ贈られ、被害の大きかったさつま町へ贈呈されました。(10月22日) (右側から)鹿児島県町村議會議長会 中村事務局長、高田副町長、柏木副議長



新議員研修会が鹿児島市で行われ、6人の新議員が出席しました。(10月11日)



第16回国道504号さつま町・出水市区間改良整備促進議員期成会による現地調査と総会が本町において開催されました。(10月20日)



国道504号さつま町・出水市区間改良整備促進議員期成会の要望書を県副知事へ提出しました。(10月22日) (右側から)宮之脇議長、藤本副知事、上野町長

委員長
委員
副委員長
古中有
田村川
昌慎美澄
也一子雄

議会広報特別委員会

秋の収穫作業が真っ盛りです。
表紙写真に季節の行事や人物写真には細心の注意を払いながら掲載しました。

の当たりにして、叱咤される
7月豪雨。平成十八年以来の甚
大な豪雨災害にも関わらず、被
災状況をものともせず懸命に復
旧作業にあたる地域の人達を目
の当たりにして、叱咤される
のような感覚に。改めて「言論
の府」としての議会の役割に思
いを馳せながら、4人の委員に
よる編集作業は原点回帰になっ
ています。

全国で災害が頻発する中での
7月豪雨。平成十八年以来の甚
大な豪雨災害にも関わらず、被
災状況をものともせず懸命に復
旧作業にあたる地域の人達を目
の当たりにして、叱咤される
のような感覚に。改めて「言論
の府」としての議会の役割に思
いを馳せながら、4人の委員に
よる編集作業は原点回帰になっ
ていました。

改選後2回の定例議会の一般質問が合わせて二十一人となり、昨年一年間の二十一人に追いつく勢いです。

編集後記

発行／さつま町議会

発行責任者／さつま町議會議長 宮之脇 尚美

〒895-1803さつま町宮之城屋地1565番地2 電話 0996-53-1111 FAX 0996-52-0704